

令和4年度石川県防災総合訓練において臨時災害放送局の開設訓練を実施

総務省北陸総合通信局（局長：小津 敦）は、令和4年9月25日（日）、令和4年度石川県防災総合訓練（主催：石川県、川北町）に参加し、主会場となった川北町コミュニティ&スポーツ公園で、同町とともに臨時災害放送局の開設訓練を実施しました。

今回の訓練では、大雨や地震による被災に伴い、地域住民や滞在者に対して緊急避難情報や被災者支援情報を発信する必要が発生との想定のもと、①川北町からの要請を受け、北陸総合通信局が臨時災害放送局設備（FM設備）を無償貸与する訓練、②川北町からの口頭申請を受けて、北陸総合通信局が臨時災害放送局を免許する訓練、③川北町が臨時災害放送局を開設し、地域住民に情報伝達する訓練を実施しました。

同時に、音声Web配信システムを用いて、スマホにインターネット経由で同内容の送信実験も実施しました。この実験は、テレコムサービス協会北陸支部及び北陸情報通信協議会の協力を得て行いました。

なお、災害時、北陸総合通信局は、①各県対策本部や市町村に連絡要員（リエゾン）を派遣し、被災地における通信・放送サービスの状況を情報提供するとともに被災地の要望を把握する、②自治体や事業者に対し、機材（臨時災害放送局設備、移動電源車、移動通信機器、ICTユニット等）を無償貸与することとしています。北陸総合通信局は、こうした対応を通じ、引き続き地域に貢献します。



当局小津局長の説明を受ける馳浩石川県知事



当局ブース、来場者への説明の様様